



2016年度新入生 教務オリエンテーション

2016年4月4日

関西学院大学 商学部



Kwansei Gakuin University

関西学院大学への
ご入学
おめでとうございます

皆さんの入学を心よりお祝い申し上げます

キリスト教主義教育

School motto:

Mastery for Service

「奉仕のための練達」

他者のために自らを鍛え、
他者のために働けるリーダーとなれ!

本日のオリエンテーションの目的

- 教育理念の理解
- 商学部の教育課程(カリキュラム)の理解
- 学習計画の立案と「時間割」の作成について(履修)

商学部のディプロマ・ポリシー (DP)

「学習と履修の手引き: カリキュラム編」p. 7

「真に創造的な能力を有するビジネス
パーソンの育成」
(Fostering Creative Minds for Business)

- ディプロマ(diploma): 卒業証書
- ポリシー(policy): 方針
- ディプロマ・ポリシー: 学位授与の方針

大学における学び

- 高校との違い(「生徒」から「学生」へ)
→自由と責任
- 能動的に情報を集め、分析し、英知へと昇華させる努力を怠らない
- 深い価値基準で物事を考える

大学における学びの流れ

「学習と履修の手引き: 履修編」参照



カリキュラム(Curriculum)

「学習と履修の手引き: カリキュラム編」参照

- カリキュラムとは
- 商学部のカリキュラムの概要
- 商学部のカリキュラムの特色
- 授業・試験・レポート・成績

カリキュラムとは

- 履修課程のこと
- 学部の教育理念・方針にもとづく教育課程・内容の計画→「教育計画」

商学部のカリキュラム・ポリシー(CP)

「学習と履修の手引き: カリキュラム編」pp. 8-9

- キリスト教主義による人間愛の精神を涵養
 - 一般教養による人格形成
 - 専門知識の習得
 - 国際化時代・情報化時代の社会に貢献できるビジネスパーソンの養成
-
- カリキュラム(curriculum):履修課程
 - ポリシー(policy): 方針
 - カリキュラム・ポリシー: 学位取得のための履修課程に関する方針

商学部のカリキュラムの概要

「学習と履修の手引き: カリキュラム編」pp. 12-26

- 授業科目の構成・区分
- 授業期間・授業時間・開講期間
- 単位
- 履修基準年度と履修区分
- 科目ナンバー(商学部専門科目のみ)
- 卒業必要単位数
- 総合分野
- 専門分野
- 専門分野 — コース制
- 研究演習 I (ゼミ)の先修条件

授業科目の構成・区分

「学習と履修の手引き: カリキュラム編」p. 12

商学部教育課程表

※学習と履修の手引き(カリキュラム編)折り込み参照

総合分野						専門分野						その他
別教 科目	言語教育 科目		教養教育 科目		全学 科目	基礎 科目		法学 関係科目	コース 専門 科目	演習 科目	共通 科目	他学部の 授業科目 など
必修	必修 選択必修	選択	選択 必修	選択	選択	必修	選択 必修	選択 必修	選択 必修	選択	選択	
4単位	第1外国語 8単位 第2外国語 8単位		8単位			8単位	12単位	4単位	24単位			
小計 20単位						基礎科目・共通科目・コース専門科目から選択 32単位						
						小計 80単位						
総合分野・専門分野・その他から選択 16単位												
合計 124単位												

授業期間・授業時間・開講期間

「学習と履修の手引き: カリキュラム編」p. 12

【授業期間】 春学期: 4月～9月 秋学期: 9月～3月

【開講期間】 ①1学期(半期)開講科目 ②通年開講科目

【授業時間】 1回あたりの授業時間: 90分(制度上は「2時間」)

第1時限	9:00～10:30
チャペルアワー	10:35～11:05
第2時限	11:10～12:40
昼食時休憩	12:40～13:30
第3時限	13:30～15:00
第4時限	15:10～16:40
第5時限	16:50～18:20

単位

「学習と履修の手引き: カリキュラム編」p. 13

- 各授業科目には**単位数**が定められている
教育課程表の科目名の後ろに記載された数字
「キリスト教学A **2**」⇒2単位
「簿記基礎 **4**」⇒4単位
- 最終評価で合格すると**単位**が与えられる

履修基準年度と履修区分

「学習と履修の手引き: カリキュラム編」p. 13

【履修基準年度】

- 履修基準年度1年: 第1・2・3・4学年度生が履修可能
- 履修基準年度4年: 第4学年度生が履修可能

【履修区分】

- **必修**科目
- **選択必修**科目
- 選択科目

科目ナンバー (商学部専門科目のみ)

「学習と履修の手引き: カリキュラム編」 p. 13

科目ナンバーは
商学部教育課程表
に記載されている

各科目のレベルと位置付けの明確化

科目ナンバー	位置付け	科目の例
100番台	商学部生として専門分野を学ぶ上で基盤となる科目	基礎科目(必修科目) 商学演習 共通科目(履修基準年度1年)
200番台	学部入門・初級レベルの科目	基礎科目(選択必修科目) 法学関係科目 共通科目(履修基準年度2年)
300番台	学部標準レベルの科目	コース専門科目(履修基準年度2年) 共通科目(履修基準年度2年) 研究演習 I
400番台	学部応用・発展レベルの科目	コース専門科目(履修基準年度3年) 共通科目(履修基準年度2年) 研究演習 II

卒業必要単位数

「学習と履修の手引き: カリキュラム編」p.14

卒業に必要な最低単位数: **124単位**

履修分野 ・区分	総合分野		専門分野			総合分野・ 専門分野・ その他	合計
	必修	選択 必修	必修	選択 必修	選択		
卒業に 必要な 単位数	12単位	16単位	8単位	40単位	32単位	16単位	124単位
	28単位		80単位				

124単位を超えて単位を取得してもよい

余裕を持った卒業単位の取得を目指そう！

総合分野

「学習と履修の手引き: カリキュラム編」 pp.15-20

■総合分野とは

- ・キリスト教科目
- ・教養教育科目
- ・言語教育科目
- ・全学科目

■卒業に必要な最低単位数は28単位

- キリスト教学 必修 4単位
- 第1外国語 必修 8単位
- 第2外国語 選択必修 8単位
- 教養教育科目 選択必修 8単位

専門分野

「学習と履修の手引き: カリキュラム編」 pp.21-24

■ 専門分野とは

- 基礎科目
- 法学関係科目
- コース専門科目
- 演習科目
- 共通科目

■ 専門科目のうち、卒業に必要な**最低**単位数は合計**80**単位

専門分野 — コース制

「学習と履修の手引き: カリキュラム編」 pp.22-23

- 6つのコース
 - 経営
 - 会計
 - マーケティング
 - ファイナンス
 - ビジネス情報
 - 国際ビジネス
- コースへの所属は3年生から
- 所属するコースのコース専門科目から最低**24**単位を取得しなければならない

研究演習 I (ゼミ) の先修条件

「学習と履修の手引き: カリキュラム編」 pp.25-26

- 第1外国語の I・II
 - 第2外国語の I・II
- ※インテンシブ・プログラムでも可
- 基礎科目のうち「簿記基礎」、「経済学基礎」のいずれかを含む計14単位以上
 - 研究演習 I を履修する年度の前年度末までに、卒業に必要な単位を50単位以上取得

商学部のカリキュラムの特色

コース制

少人数教育

海外留学および海外研修等の単位認定

検定試験・資格試験合格による単位認定

寄附講座の開講

早期卒業制度による大学院進学

授業・試験・レポート・成績

「学習と履修の手引き: カリキュラム編」 pp. 30-34

【授業】

- 授業では出席が重要
- 欠席回数によって合格できない科目もある

【試験】

- 定期試験(春学期・秋学期の学期末)

【レポート】

- 決められた形式で商学部事務室または科目担当者に提出
- 講義によって評価方法は異なる

【成績】

- 60点以上が合格

卒業生数の状況

- 例年、約85～90%の学生諸君が4年間で卒業

GPA(Grade Point Average)制度について

「学習と履修の手引き: 履修編」 p. 64

$$\text{GPA} = \frac{[(\text{科目の単位数}) \times (\text{その科目の評価の GP})] \text{の総和}}{(\text{履修登録した単位数}) \text{の総和}}$$

100点～90点またはS評価 → 4

89点～80点またはA評価 → 3

79点～70点またはB評価 → 2

69点～60点またはC評価 → 1

59点～ 0点またはF評価 → 0

前学期のGPA **3.0 以上**ある場合は履修制限単位数が4単位増加!

不正行為禁止!

「学習と履修の手引き: 履修編」 p. 60

試験を受験するにあたっては、正々堂々と学習してきた成果を発揮すること

- 不正行為があった場合は、当該学期に履修中の全科目(演習科目を除く)の成績評価を0点とする
- 一定期間、副学部長および宗教主事の訓育を義務づける。



試験における注意事項

- ▶ 商学部における試験において不正行為があった場合には、当該学期において履修している全科目の成績を0点と評価する。また、副学部長、宗教主事の訓育を一定期間受けなければならない。
- ▶ 他学部実施の試験において、商学部生による不正行為があった場合にも、商学部内規により上記の処分が行われる。
- ▶ 他学部生についても、不正行為があった場合には、所属学部の内規に従い処分が行われる。
- ▶ 以下の行為を不正行為とみなす。

- 他人に受験をさせること、または他人に代わって受験すること
- 他人と解答用紙、または教科書・ノート等を交換または貸し借りすること
- 監督者の許可なく問題用紙、解答用紙を試験場外に持ち出すこと
- 直接、あるいは電子機器などを用いて、他人と連絡すること、またはそれを試みること
- 他人の解答をのぞき見たり、書き写したりすること、または他人に自分の解答を見せること
- 所持品、衣服、身体、机または壁などに書き込みをすること
- 使用が許可されていない持ち物を指示された場所以外に置く、または所持・使用すること(それを見て解答したかどうかは問わない、また電卓以外の電子機器は時計・電卓の代わりに使用することも認めない、直卓上は、四則演算およびルー上機能のみを有するものを指す。従って、関数電卓等は電卓として認められない。)
- 試験監督者の指示に従わないこと
- その他、試験監督者および所属学部が不正行為と認めたこと

【注意】「学習と履修の手引き-履修編-」(V. 試験・レポート・卒業論文)および「商学部内規」(II. 成績評価・試験内規)を併せて参照のこと。

商学部

不正行為の例

- 他人の解答をのぞき見たり、書き写したりすること
- 他人に自分の解答を見せること
- **携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末等、試験中に使用を認められていないものを所持、または身に付けていること**

剽窃(ひょうせつ)

「学習と履修の手引き: 履修編」p. 62

他人が書いた文章をあたかも自分の文章として使う行為のこと

- 剽窃は、「著作権」を侵害する**違法行為**であり、文書全体を写すだけでなく表現を多少変えたりするなどして他人の文章を自分の意見のように書くことも「剽窃」と見なされる
- 文章やデータ等をコピー(複写・複製) しペースト(転写・貼付)する、いわゆる「**コピペ**」は剽窃に該当する

剽窃禁止!

履修について

「履修」＝自らが学習計画を立て、「自分の時間割」を作成すること

1. 履修の際に必要な冊子
2. 履修に関するキーワード
3. 履修の6つのステージ
4. 商学演習の申し込み
5. 自分の時間割を作ってみよう！
6. 住所の確認(自宅・下宿・保証人)
7. その他

※『学習と履修の手引き(履修編)』(薄いピンク色の冊子)を参照。

1. 履修の際に必要な冊子

①2016年度 学習と履修の手引き(履修編)

♪2016年度の履修に必要な情報が記載されている

②商学部教育課程表(学則別表)

♪卒業に必要な要件を計算・確認する表(カリキュラム編p.1の折り込み参照)

③2016年度 商学部授業時間割

♪講義のある曜日・時限・教室を確認するもの

④履修申請にあたって

♪履修についての重要な注意点を抜粋したもの

⑤2016年度商学演習履修案内

♪「商学演習」の履修要領について記載されている

2. 履修に関するキーワード

①履修基準年度

履修基準年度1年：第1～4学年度生が履修可

履修基準年度4年：第4学年度生が履修可

②履修制限単位数 <P.19>

学年ごとに履修できる単位数が決まっている

1年生は各学期 22単位

※22単位まで履修できるという意味です。

必ず22単位履修しなくてはいけないという意味ではありません。

2. 履修に関するキーワード

③「クラス(組)指定」科目【重要】

- I. キリスト教学A、B
 - II. 第1・2外国語
- ※既に曜日・時限が指定されています

👉茶封筒内の「時間割プラン作成シート」を参照

III. 基礎科目

簿記基礎・経済学基礎・経営学基礎・統計学基礎

(週2回開講、4単位)

数学基礎A・B、マーケティング入門、ファイナンス入門、

国際ビジネス入門

(週1回開講、2単位)

👉「履修申請にあたって」内の「クラス指定表」で自分の学生番号を確認し、記載されたクラスを選択

2. 履修に関するキーワード

④ペア科目(週2回開講される科目)

例) 簿記基礎(月1・木3)、経済学基礎(火3・金1)、
経営学基礎(火1・木3)、統計学基礎(火3・木1)

⑤申込制科目(抽選の結果、当選者のみ履修できる科目)

📄期間等の詳細は「履修申請にあたって」を参照

☆商学演習は必ず申し込みましょう!

申込期間:4月4日(月)13:00~16:50

※【修正期間】4月6日(水)8:50~11:30

⑥履修申請 4月8日(金)8:50~11日(月)16:50

※申込・申請はPCから教学Webサービスを利用し、自分で行う!

4月2日に配布したログインID・パスワード(オレンジ色の封筒内)が必要

2. 履修に関するキーワード

⑦ シラバス (Syllabus)

- **講義**などの内容。開講される科目について、**事前に立てられた講義内容、評価基準や開講期間中の進捗などの計画を記した**もの。
- 履修科目を選択する際は、シラバスを確認するようにしてください。

<https://syllabus.kwansei.ac.jp/>

3. 履修の6つのステージ

① クラス指定科目（キリスト教学、語学）の時間割確認

② 申込制科目の申込（Web） 春:4/4 秋:9/5～9/7

③ 履修申請（Web） 春:4/8～4/11 秋:9/20～9/23

④ 履修確認・修正（Web） 春:4/14～4/15 秋:9/27～9/28

⑤ 時間割の確認（Web） 春:4/22 秋:10/4

⑥ 履修中止申請（Web） 春:5/25～5/31 秋:11/15～11/21

4. 商学演習の申し込み

「商学演習」とは？

- 担当教員がクラス担任となり、皆さんの様々な悩み・問題に対応します。
- 専門知識だけでなく、文献検索方法や図書館の利用方法、文章の読解・まとめ方、レポートの書き方などを学べる。
- 演習方式の授業を通し、友人関係を築くことができる。

申し込みについて

I. 「2016年度 商学演習履修案内」を参照

☞ 4月2日に配布された茶封筒内

II. 必ず第10希望までWebで申し込むこと！

III. 希望するクラスに入れない可能性もあり

☞ 2次募集に申し込むこと（商学部事務室で受付）

4月7日（木）のみ 8:50～11:30・12:30～16:50

5. 自分の時間割を作ってみよう！

教学Webサービス: PCからのみ (携帯電話・スマートフォン不可)

<https://webinfo.kwansei.ac.jp/>

①2016年度 商学部授業時間割

②履修申請にあたって



6. 住所の確認(自宅・下宿・保証人)

■本人情報/Personal Information	
※漢字氏名、カナ氏名、英字氏名の【中間名】については、【名】をひる、「中間名」の欄で表示されています。 ※氏名に関する変更はできませんので、別途、所属事務室までご相談ください。	
漢字氏名【姓】 Surname (Kanji)	関学
漢字氏名【名】 First Name (Kanji)	太郎
カナ氏名【姓】 Surname (Katakana)	カンガク
カナ氏名【名】 First Name (Katakana)	タロウ
英字氏名【姓】 Surname (Alphabet)	KANGAKU
英字氏名【名】 First Name (Alphabet)	TAROU
郵便番号 Postal Code	662-0892
市区郡町村名 City/Municipality	西宮市 上ヶ原二番町
町域/番地 Street Address	
建物名 Building Name	
電話番号 Phone Number	0000000000
FAX番号 FAX Number	8888888888
携帯電話番号 Cell Phone Number	9999999999

学生情報登録申請画面より現住所・電話番号等の学生情報の確認・修正をすること！

7. その他

「学習と履修の手引き: 履修編」 pp. 24-26

①履修モデル

学生のみなさんが4年間、学習目標に沿って適切な履修科目の選択を行うことができるよう、コース毎の「履修モデル」を提示しています。

4年間の学習計画を立てる際に役立ててください。

科目区分	1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	必要単位	取得単位
キリスト教科目	キリスト教A	2							4	4
	キリスト教B	2							4	4
英語教育科目	英語Ⅰ(リーディング)	1	英語Ⅱ(リーディング)	1					8	8
	英語Ⅲ(リーディング)	1	英語Ⅳ(リーディング)	1					8	8
	英語Ⅰ(コミュニケーション)	1	英語Ⅱ(コミュニケーション)	1					8	8
	英語Ⅲ(コミュニケーション)	1	英語Ⅳ(コミュニケーション)	1					8	8
第2外国語Ⅰ-Ⅱ	第2外国語Ⅰ-Ⅱ	4	第2外国語Ⅲ-Ⅳ	4					8	8
	(フランス語・ドイツ語・中国語・韓国語・スペイン語より選択)		(フランス語・ドイツ語・中国語・韓国語・スペイン語より選択)						8	8
教養基礎科目	教養基礎A(歴史)	2	教養基礎B(国際関係)	2					8	8
	教養基礎C(法)	2	教養基礎D(環境)	2					8	8
	教養基礎E(経済)	2	教養基礎F(情報)	2					8	8
	教養基礎G(健康)	2	教養基礎H(芸術)	2					8	8
教養教育科目	日本史A	2	教養演習	2					16	16
	東洋史A	2	日本国憲法	2					16	16
	心理学A	2	数理解科A	2					16	16
	法学A	2	コンピュータ基礎	2					16	16
総合分野科目合計		24		20				44	44	
基礎科目	簿記基礎	4	ビジネス会計入門	2					10	10
	経営学基礎	4	国際ビジネス入門	2					10	10
	マーケティング入門	2							10	10
	ファイナンス入門	2							10	10
法学関係科目			民法A	2					4	4
			企業法入門	2					4	4
コース専門科目			経営学原理Ⅰ	2	経営学原理Ⅱ	2	人的資源管理論	2	2	24
			経営学原理Ⅱ	2	経営学原理Ⅲ	2	経営学Ⅱ	2	2	24
			経営学原理Ⅲ	2	中小企業論	2	企業戦略論	2	2	24
			経営学Ⅰ	2	経営学Ⅱ	2	マネジメントサイエンス	2	2	24
専門科目(コース外)			マーケティングマネジメント	2	経営情報Ⅰ	2	コーポレート・ガバナンス(サステナブル)	2	2	32**
			消費者行動論	2	リスクマネジメント	2				18
			金融論Ⅰ	2	ファイナンス論	2				18
			金融論Ⅱ	2	金融市場論	2				18
演習科目	原学演習	4			研究演習Ⅰ	4	研究演習Ⅱ	4	12	
共通科目					留学外書読読(英語)A	2			0*	
専門分野科目合計		20		24		24		12	80	
総合計		44		44		24		12	124	

*の単位数を**に合算

7. その他

②授業時間割に関する情報

授業の休講や補講、教室変更等の情報は**教学Webサービス**および**掲示板**を毎日チェックしてください。

③検定試験・資格試験合格による**単位認定**

TOEIC、簿記検定などの資格試験・検定試験に合格した場合、授業科目の**単位を認定**します。認定できる科目や申請方法については、「**学習と履修の手引き(履修編)**」P.51-59をよく読んでください。

7. その他

④複数分野専攻制(MS) & マルチプル・ディグリー(MD)制度

複数分野専攻制(MS)

商学部に所属しながら、他学部の体系的なプログラムを履修することが可能。卒業時にはMS修了書を授与。

マルチプル・ディグリー(MD)制度

複数分野専攻制(MS)を利用して、2つの学部を卒業(2つの学位を取得)することができる制度。

⑤教職課程等

商学部では、**社会・英語(中学)**、**商業・地理歴史・公民・英語(高校)**の**教職課程(免許課程)**を設けています。

7. その他

⑥授業欠席について

本学には「公欠」という制度はなく、病気その他やむを得ない事情で授業を欠席する場合も、その扱いは授業担当者の判断となります。ただし、病気等で1ヶ月以上欠席する場合は、商学部事務室に相談してください。

⑦商学部専用のPC教室について

- 商学部コンピュータ利用室(商学部本館1階)
- D-301、D-302(D号館内)
- 4別-101A・B(使用可能日時は「商学演習履修案内」参照)

👉 「商学演習」の申し込みの際は、ぜひ利用してください！

7. その他

⑧「実践型“世界市民”育成プログラム」について

■参加者募集説明会（「キャンパスライフABC」内）

日時：4月6日（水）①11:00～12:00、②16:00～17:00

場所：B号館 201号室

⑨「あなたにぴったりの国際教育・協カプログラムを一挙にご紹介！～海外留学・ボランティアへのSTEP1～」について

■参加者募集説明会（「キャンパスライフABC」内）

日時：4月6日（水）①10:00～11:00、②13:00～14:00

③15:00～16:00

場所：B号館 203号室

重要事項

★必ず**教学Webサービス・掲示**を確認すること！

学生諸君への連絡や通知は、すべて**教学Webサービス**および**掲示**によることを原則としているので、定期的に確認するようにしてください。「**教学Webサービスを見ていなかった**」ということで責任を逃れることはできません。

★履修に関する質問は**商学部事務室**まで

聞き間違いなどトラブルが生じる可能性がありますので、電話での問い合わせには一切応じていません。

★**提出物・手続の期間・期限は厳守！**

定期レポート、卒業論文などの提出等

TOEIC試験実施について(お知らせ)

対象者：新入生全員

実施日：5月28日(土)

時 間：13時40分～16時45分

☞ 場所等の詳細は、昨日配布された青い袋の中にある「2016年度の祝日授業実施日、TOEIC 試験実施および成績の保証人への送付について」をご覧ください。

ご清聴ありがとうございました。

みなさんのこれからの成長と
活躍に期待しています。

商学部



商学部のシンボルマーク

事務室からの連絡

- 【**新入生対象**】

検定試験合格による単位認定申請

人権講演会終了後 G-101にて実施

- **本日**合格証書の**原本持参者のみ**参加可
- スプリング・インテンシブ・イングリッシュの履修許可者で**英語**を認定希望の者は説明会への**参加不要**